

散 歩 道

10月23日かき、2日目は救護テントで
 28日まで韓 看護師の処置を受け、どう
 国を訪れ、24 にか完歩できました。

25の両日、韓 原州市は人口約30万人の
 国の原州市で 都会ですが、少し歩くと日
 開かれた国際 本の農村のような風景に出
 ウオーキング大会に参加し 合えました。天候にも恵ま
 ました。私はこの旅で、ウ
 オーキングと韓国の方との
 交流を目的にしていまし
 た。

韓国ウオーキングに参加

れ、紅葉も見事でした。

者には医療費を無料にした

ウオーキング大会の参加
 総数は約3万5千人。一緒
 に行ったメンバーは各自の
 体力に合わせて5、10、20
 *のコースを選択しまし
 た。私は10*を歩きました
 が、初日に両足に水疱がで

4日目は、原州総合体育
 場で大韓ウオーク連盟理事
 長の李康玉氏から、ユビキ
 タスの説明を受けました。
 それら身長、体重、血圧、
 体脂肪などの測定値を入力
 した健康メモリーカードを
 いただきました。

身につけ、ウオーキング公
 園内を歩くことで歩行距離
 が記録されるというシステ
 ムです。現在1万人の市民
 にカードが配布されている
 そうです。今後は、医療や
 教育の分野と連携し、優秀
 ウオーキングの2日間を
 通して、韓国の小中学生が
 日本語で声を掛けてきてく
 れました。私は全く韓国語
 が話せず、一方的に話し掛
 けられるのを待つという状
 況でしたが、とても楽しか
 ったです。

この旅で、人と触れ合う
 ことの楽しさや健康管理に
 ついて気付くことができました。
 まずは、韓国語講座
 を受講しようかなと考えて
 います。関係の方々に感謝
 申し上げます。カムサハム
 ニタ

岡本 朋子（倉吉市東昭
 和町、看護師、52歳）